



スーダン共和国 (Republic of the Sudan)



- スーダンへの援助総額は2014年までに累計13.24億ドル。
- 3つの柱(①平和の定着支援, ②基礎生活分野支援(保健, 水・衛生), ③農業開発支援)を軸に, スーダンの持続的成長に貢献。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 188万平方キロメートル(日本の約5倍)
- ・人口: 4,023万人(2015年, 世銀)
- ・首都: ハルツーム(首都圏人口約630万人)
- ・民族: 主としてアラブ人, スビア人, フール人, ベジャ人等, 200以上の部族が混在
- ・言語: アラビア語(公用語), 英語も通用, 部族語も多数
- ・宗教: イスラム教(主に北部), キリスト教, 伝統宗教
- ・政体: 共和制
- ・議会: 二院制(国民議会(下院)426議席, 州代表評議会(上院)30議席)
- ・GNP: 672.78億ドル(2014年)
- ・GNI: 一人あたり 1,840ドル(2015年)
- ・経済成長率: 3.0%(2014年)
- ・失業率: 15.2%(2013年)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

16-17世紀	フンジ・スルタン国, フール・スルタン国等が栄える
1820年	トルコ支配下のエジプトの支配下に
1881年	マハディ国家建設(一時的な独立)
1899年	英国・エジプトによる共同統治開始
1955年	南部スーダンで武装蜂起, 第1次内戦
1956年	スーダン独立
1972年	南北合意, 第1次内戦終結
1983年	第2次内戦勃発
1989年	クーデタによりバシール軍事政権成立
2005年	南北包括和平合意
2011年	南スーダン独立

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	105億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	1,221.78億円 (2014年度末時点)
技術協力	198.48億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ58人 (2016年7月時点で15人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には, 短期派遣ボランティアを含む。

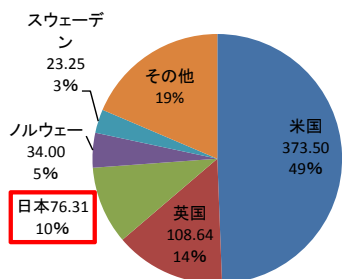
経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からスーダンへの輸出	527.2億円(2014年, 財務省貿易統計) (世界からスーダンへの輸出全体の約6%)
スーダンから日本への輸出	132.39億円(2014年, 財務省貿易統計) (スーダンから世界への輸出全体の約3%)
在スーダン日系企業数	2社 (2015年10月時点, 外務省統計)
日本企業現地法人の雇用数	約700人 (2016年, 大使館調べ)
日本企業現地法人の売上高	約250億円 (2015年, 大使館調べ)

人的つながり

項目	人数(直近年)
スーダンにおける在留邦人数	123人 (2015年10月時点, 外務省統計)
在日スーダン人数	207人 (2015年6月時点, 法務省統計)
日本からスーダンへの渡航者数	1,171人 (2013年, スーダン政府調べ)
スーダンから日本への渡航者数	1,137人 (2013年, スーダン政府調べ)
スーダンから日本への留学生数	35名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

スーダンへの主要ODA供与国 (2014年, 出典: OECD/DAC, 単位: 百万ドル)



日本とスーダン共和国との協力年表

年代	案件
1956年	スーダン独立, 日本, スーダンを承認
1957年	日本, 公使館設置(在エジプト大使兼任)
1961年	日スーダン双方が互いの国に大使館(実館)を設置
1982年12月	イブン・シーナ病院完工
1988年11月	青年海外協力隊派遣取極
1989年	JICAスーダン事務所設立
1990年	青年海外協力隊派遣開始
1992年	国内人権状況にかんがみ, 援助を人道・緊急援助に限定
2005年1月	南北包括和平合意を受け, 人道・緊急援助以外の二国間援助を再開
2008年5月	バシール大統領訪日(TICAD IV参加)
2009年1月	南部スーダンの武装解除・動員解除・社会再統合の支援を決定
2009年3月	青年海外協力隊再派遣開始
2009年10月	スーダンでの総選挙支援を決定
2010年7月	南部スーダン住民投票支援を決定
2011年7月	南スーダン独立, 日本, 南スーダンを承認
2011年12月	大型の人道支援を決定
2012年10月	カッサラ市給水計画支援を決定
2013年	日スーダン間でレスリング交流開始(大使館員によるスーダン・レスリング参加)
2014年2月	ハルツーム州廃棄物管理能力向上支援を決定
2015年9月	ハルツーム州郊外保健サービス改善計画支援を決定
2016年8月	サーレハ第一副大統領がTICAD VI出席, 日スーダン外相会談実施



(JICA農業(稲作)プロジェクトにおける技術指導の様子)

日本の保健分野での対スーダン支援における大型インフラ整備事業

4,950万ドルを供与。以来, ほぼ毎年, 大型の人道支援実施



(JICA無償プロジェクト(カッサラ給水事業)で整備された給水設備)

エリトリアとの紛争終了後の平和定着支援



「キャプテン翼」のキャラクターを廃棄物収集車に添付してアピール, 15.3億円を供与

イブン・シーナ病院以来の首都保健大型案件, 23.2億円を供与

供与された作業員制服及びゴミ箱



JICA技術協力プロジェクト(水供給人材育成)による研修の様子



©JICA/スーダン



©JICA/スーダン